



別府市

姉妹都市ロトルア市の協力を得て、RWC2019、東京オリパラ2020における
ニュージーランドのラグビーチームの事前合宿を誘致



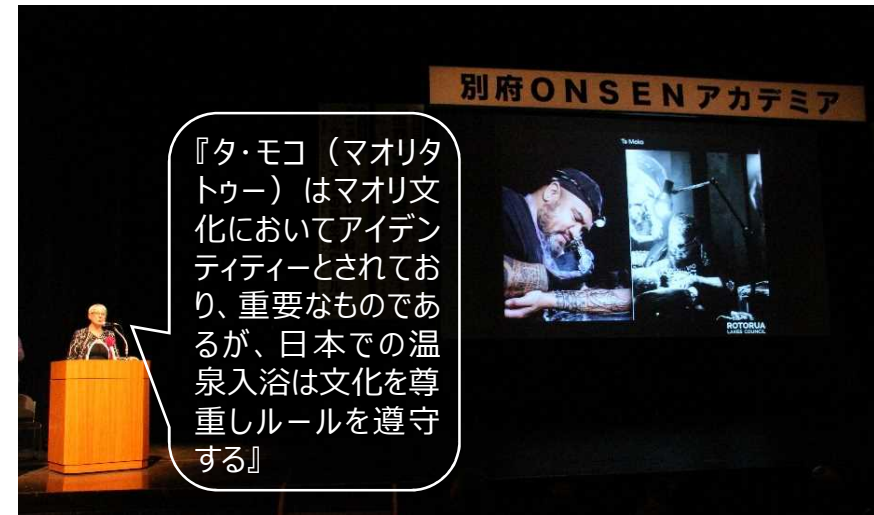
両市に共通したコンテンツ「ONSEN」を核とした取組み

◎ 地獄蒸し工房 鉄輪をロトルア市に建設予定

別府発 人気の観光施設 ⇒ ロトルア市のクイラウ公園へ輸出



◎ ロトルア市長が、温泉入浴でのタトゥーに関し、マオリ文化の視点から講演



『タ・モコ（マオリタトゥー）はマオリ文化においてアイデンティティとされており、重要なものであるが、日本での温泉入浴は文化を尊重しルールを遵守する』

◎ 両国の医療機関で、スポーツのリハビリやパフォーマンスアップに対するONSENのエビデンスを共同研究し、同国のチームキャンプを目指す。

レガシーとして、そのエビデンスを活用したスポーツ観光の深化を目指す。

【写真左】ロトルア市長が九州大学病院（別府市）を視察
【写真右】別府市公式訪問団がロトルアを訪問し、意見交換





別府市

姉妹都市ロトルア市の協力を得て、RWC2019、東京オリパラ2020における
ニュージーランドのラグビーチームの事前合宿を誘致



◎ 高校生によるラグビー交流事業

<2019、2020大会に向けた機運醸成>

1,000人を超える観戦客

- ・ 真剣勝負の交流試合 (vs県高校選抜)
- ・ アフターマッチファンクション
- ・ ホームステイ
- ・ 子どもたちへのラグビークリニック



グローバル人材の育成

- ・ 異文化体験による視野の多角化
- ・ ラグビー技術の向上
- ・ コミュニケーション能力の向上





人用に特別
大型のベッ
ドまで用意
して、手術
も百腿程度
なら大丈夫
という。

東京・代々木の選手村診療所
は内科、外科、耳鼻科からレン
トゲン科までそろって、ちょっ
とした総合病院並み。関東労災
病院など都内の十三病院から医
師、看護婦が出張、各国選手の
万一の場合にそなえている。外

だが、なんといつてもいちは
ん繁盛しそうなのが骨折やネ
ンザも扱う外科。超音波治療
器、えりぬきのマッサージ師の
ほか、ここのご自慢は別府温泉
の泥を使う。鮎泥温布だ。診
療所開設のさか「なるべく日本

特効薬、別府温泉の泥



カマに入れて温布用になりあげられる別府温泉の泥
(代々木選手村診療所で)

的なものを……」と、水町四郎
関東労災病院長の提唱で、鮎泥
温布採用が決ったという。別府

直接患部にあててもハタが荒れ
ない。木箱に詰めて貨車で運んでき

に温布。人種によつて温熱感覚
が違つので、各人のおフロの選
温を聞いてから、温布の温度を
決めるのだそうた。

温泉の、地獄の泥、は熱持ちが
よく、筋肉痛には非常にきく。

そのうえ、粒子が細かいので、

たヤツを適当な量にわけ、大き
なカマに入れた泥を蒸気でむし
選手のスタミナ回復にすいぶん
役立つそうた。

「外人が泥の温布
を興味悪がっても、
治療なのだから、む
りにもやってみしま
う」とある医師。診
療所は治療以外には
利用させない方針だ
が、いまのところ患
者が少ないせいもあ
つて、毎日五、六人
の日本選手がコンデ
イション調整にやっ
てくる。温布を巻え
ると、みんな異口同